



放課後デイサービス
まごころライト

2020年・令和2年

明けましておめでとうございます。

今年もよろしくおねがいします。

毎年、近くの神社に初詣に行きます。今年も歩いて、お賽銭持って行きました。

一年の感謝と夢と希望を神様に伝えに行きました。

みんなで書初めをします。字にならない子もいますが、頑張って筆を走らせます。

「夢」これはスタッフが書いたものです。みんなの夢が大きく膨らみますように…。



放課後デイサービス
まごころレフト

あけまして おめでとうございます

いい年でありますように願っております。残り少ない3学期も有意義に過ごしましょう。



国玉神社でのこどもたち



つぶやき



喜びいろいろ

一月号ともなれば、何かふさわしい話題をと考えたが、高齢の私には取り立てて言える程の事はないが、令和元年度版「いちのみや文芸」の随筆欄に「現実逃避」と題して入選した。これは単なる私的な喜びで、言うなら自己満足に過ぎないのだろう。

一番のめでたさは、昨年即位の儀の令和天皇の凛々しさ、新皇后の品格高いお姿。オープンパレードの沿道には、祝賀する人がギッシリ詰めかけたりするなど、皇室に対して親愛の情に満ちた民衆がこんなにも多いのをつぶさに眺めて、私自身も嬉しさに浸った。

古い人間だと笑われるかもしれないが、改めて日本に生まれて良かったと思った。歴史ある伝統文化を大切にしたいものです。

それから、ささやかな喜びであるが、先日、一週間程入院した折、「僕のこと覚えていますか？」と若い看護師がひょっこり顔を出した。少し話ただけで私の記憶が甦った。数年前にこの病院に私が長期入院していた時、看護学生だった彼が研修に訪れ、三日間程担当をしてくれた。そして、私の長い病歴や患者としての看護師像など、実に熱心に尋ねたので、私も率直に意見を述べたりしたのだった。退院後に私が出した年賀状を、彼は額に入れて飾っていると言う。この好青年が希望通り看護師として勤めている事もめでたいが、私にとっても近頃最も心が満たされる喜びを覚えていた。

蒔いた種咲いてはっこりする心

澤田 清敏



デイサービス通信



年が明けました！

年明けは1月6日よりスタートしました。腰を痛めてお休みされた利用者さん以外は元気なお顔が揃いました。午前中に真清田神社へ初詣に出かけましたが、境内は余りの長蛇の列で、遠くから手を合わせるのみで帰りました。

広場では 書初めをしたり、坊主めくりや花札遊びを楽しんでもらいました。今年の抱負に「元気で暮らしたい」「スクワットを頑張りたい」等皆さんから前向きな言葉をいただきました。今年も元気に、デイサービスで楽しんでください！



栗より芋が多い芋きんとん作り！



坊主めくりを楽しむ…



元気にリボン体操！